

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 南山す、桐原、本上
2. 山城/ルート 比良・堂満岳（第1ルンゼ～第3ルンゼ）
3. 交通手段 車
4. 行動記録

<入山日 2017年1月21日>

1日目		到着		出発	
S	志賀バイパス比良ランプ付近			8:05	🕒
○	イン谷口	8:20	🕒	8:20	🕒
○	大山口	8:49	🕒	8:49	🕒
○	堂満岳	13:00	🕒	13:40	🕒
○	青ガレ	14:58	🕒	14:58	🕒
○	大山口	15:16	🕒	15:22	🕒
○	イン谷口	15:39	🕒	15:39	🕒
G	志賀バイパス比良ランプ付近	15:50	🕒		

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

予定通り

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

なし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

特になし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

志賀バイパスの比良ランプを出たところからイン谷口への道路は除雪されていないので交差点付近の路肩をスコップで除雪して車を停める

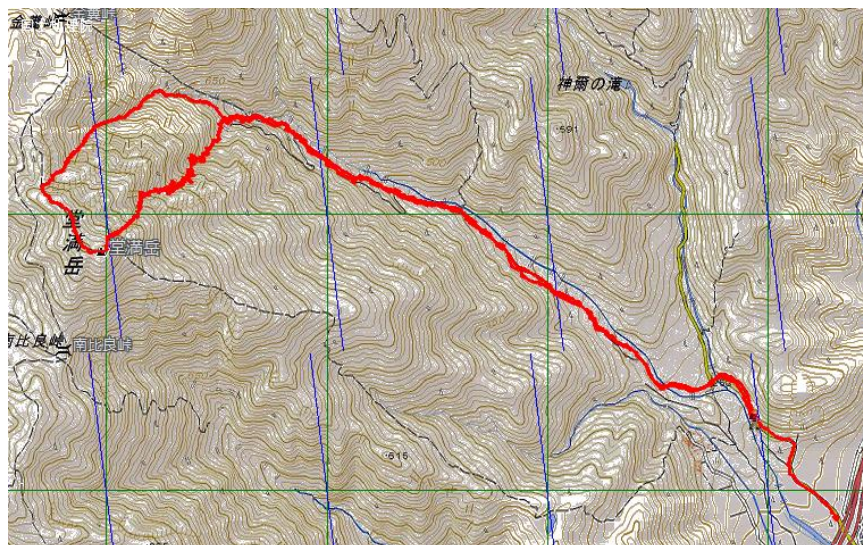
左に堰堤がある堂満ルンゼ出会でアイゼンなどの装備を装着、残念ながらトレースが付いていたので先行者のトレースに導かれるようにルンゼに入って行く。

先行者のトレースは中央稜に延びており、中央稜取付き付近の滝のところからは完全ノートレースになった。滝は完全に雪に埋もれていたが、水の音がしていた。中央稜に取り付いていたのはソロのようだ。

トレースが無くなると新雪深雪急斜面の過酷なラッセルが待っていた。先頭は胸までのラッセルに苦戦してなかなか進まない。3人で交代しながら必死で登って行く。時々降雪があるが急峻なルンゼのため風はさほどないので寒くはない。

最後の山頂直下のブッシュ帯の急斜面も非常に登りにくくへろへろになりながら堂

- 満岳山頂に到達した。2時間を想定していたが休憩無しの3時間かかってしまった。
- 新雪深雪急斜面の第3ルンゼの下降は、出だしは快適であったが時々雪面の下の穴に足がはまり込むと出るのに非常にエネルギーを消費する。途中でワカン、スノーシューを装着したがあまり変わらない。しんどかったが楽しい雪山でした。
 - ログ↓



滝は完全に雪に埋もれていた



ラッセルにも
もがきあえぐ



急峻なルンゼですね



ひらすらラッセル



第3ルンゼ下降
一気に下る